

教員氏名	吉村 いづみ	職位	教授
最終学歴	名古屋大学大学院 国際開発研究科 博士課程単位取得後退学		
学位	学術修士 (名古屋大学)		
役職	生活文化学科長	所属学会	日本映像学会、日本映画学会、日本顔学会、英米文化学会
担当科目	「異文化の理解」「海外研究」「観光英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」「英語資格講座Ⅰ・Ⅱ」「TOEIC 特講Ⅱ」「レストラン英語」		
研究分野	総合人文社会、地域研究、芸術学、外国語教育		
現在の研究テーマ	イギリス映画 (検閲を中心とした 1900 年～1930 年ぐらいまでの社会・文化史)		
教育方法の実践	1. アメリカで開催する二週間の語学研修を組み込んだ授業を全学対象に実施し、実践的な国際理解教育を行っている。 2. 英語で様々な教科を教えるイマージョン・プログラムの運営、教育に携わり、学生の英語力向上を支援した。		
作成した教科書・教材	「異文化の理解」の授業で使用するテキスト『異文化の理解 テキスト&留学ハンドブック』(編著、名古屋文化短期大学発行)を作成した。		
教育研究業績	1. (単著)「ジャンルとしての『顔もの』(facials) —英国サイレント映画における顔の表現」、『日本顔学会誌 第16巻第2号』(2016)25-33頁 2. (単著)「R. W. ポールが捉えた英国 —イギリスにおける記録映画(1896-1900)の題材について」『名古屋文化短期大学研究紀要第40集』(2015)11-24頁 3. (共著)「白い身体、黒い肉体—『青い山脈』と『キクとイサム』における占領のイメージ」『映画学叢書 映画の身体論』ミネルヴァ書房(2011) 4. (単著)「イギリス映画の統制—映画法(1909年)の背景と、関連する様々な規制・法令について—」『名古屋文化短期大学研究紀要第38集』(2013)1-9頁 5. (学会発表)「イギリスの映画検閲と公衆道徳国民協議会報告書」英米文化学会 第35回大会(法政大学:2017.9.9) 6. (学会発表)「英国の映画検閲といかがわしき<病>」『シンポジウム:〈汚〉の映画史』日本映画学会 第12回大会(大阪大学:2016.11.26) 7. (学会発表)「ジャンルとしての『顔もの』(facials) —英国サイレント映画における顔の表現」日本顔学会 第20回大会(中京大学:2015.9.13)		
受賞歴	1. 愛知県環境保全関係功労者表彰 受賞(2015年6月5日) 2. 日本顔学会「フォーラム顔学2015 原島賞」(2015年9月13日)		
社会的活動	1. 日本映画学会常任理事、副会長 2. 日本映像学会中部支部幹事 3. 愛知県環境影響評価審査委員(2005年4月～2015年3月)		
競争的資金の獲得	日本学術振興会 科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金) 課題番号26370196 「英国サイレント映画の社会史的研究」研究代表者(平成26年度～29年度)		
実務の経験を有する者についての特記事項	英語通訳者(1988-1997)として、日本とアメリカにおいて、法律、工業、環境の分野に関わる交渉、会議に携わった。		